



(1面からつづく)  
び・縫合体験  
紐(ひも)を使って糸結びの練習や模型皮膚パットで切開体験、そして縫合を5針ほど体験する。  
▽ブース3 大腿骨頸部内側骨折治療体験VR(バーチャル・リアリティ)  
その1・最初にVRの使用方法の説明があり、その後ブース1  
□鏡視下手術体験



ブース1 □超音波メス体験

グルを装着してVR手術体験する。  
その2・ボーンモデルを使用した手術体験する。  
生徒の皆さん、体験セミナーで緊張が続き、疲れ気味です。ここで10分ほど休憩です。支援する会の皆さんが茶菓で接待をする。  
▽ブース4 整形外科体験(脊椎固定手術)  
使用器械や症例の説明の後、ボーンモデルにスクリーンを入れて固定する手術を体験する。  
▽ブース5 心房



細動治療体験VR  
カテーテルのサン

ブース2 糸結び・縫合体験

プルを触ってもらいながら、アブレーション



ブース3 大腿骨頸部内側骨折治療体験  
その2 ボーンモデルを使用した手術体験(下)

ョン治療の説明の後、ゴーグルを装着してVR体験する。  
会場にNHKのテレビカメラが入り、セミナーのさまざまな体験を番組で放映する。  
総での体験が修了し、閉会に先立ち、副院長が参加の中学生の一人ひとりに「未来の医師の認定証」を授与する。  
中学校へ応募のお願い  
セミナー参加中学生への募集活動が支援する会で始まる。  
令和元年7月5日(金)、午前9時3

0から、北見市教育委員会で北見市立小中学校長会が開催され、会の代表と事務局長が参加し、その冒頭数分間をいただき、ブラック・ジャックセミナー2019の企画を説明し、中学校の校長先生に募集をお願いする。  
その後、9月中旬から会員が2班に分かれ市内の14の中学校を訪問する。ポスターやチラシを持ち、定員25名の募集をお願いする。  
それぞれの校長先生はセミナーの意義を理解して、その募



ブース1 鏡視下手術体験



休憩 支援する会んの皆さんが茶菓で接待

た。  
令和元年10月28日(月)、募集を締め切った。市内の5つの中学校から定員を上回る29名の応募があった。  
開催直前になり、2名の欠席があり、また津別中と網走二中から応募の問い合わせがあった。  
直前の受け入れは(3面につづく)